



2007 年 11 月 5 日

会社名 株式会社フュートレック

代表者名 代表取締役社長 藤木 英幸
(コード番号：2468)

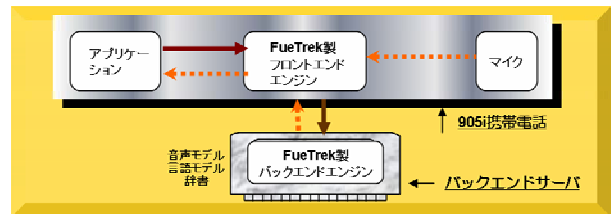
フュートレックの音声認識バックエンド（認識サーバー）を
NTT ドコモ 905 i シリーズ向けに提供開始

株式会社フュートレック（本社：大阪市淀川区 代表取締役社長：藤木英幸 以下フュートレック）は、株式会社 NTT ドコモ（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：中村維夫 以下ドコモ）から発売される 905i シリーズの音声認識機能仕様に対応したバックエンドサーバーのソフトウェアの提供を始めました。

音声認識バックエンドは、ユーザーからの要求に対して、データ処理を行い、その結果をユーザーに送信するための技術であり、音声認識のサービスを具現化するためのソフトウェアです。先にお知らせしました音声認識フロントエンドは、音声認識を携帯電話で実現するためのインフラにあたり、それと音声認識バックエンドとの連携により音声認識機能をユーザーに提供するものです。

フュートレックのバックエンドは 905i シリーズ（日本電気、三菱電機、シャープ、パナソニックモバイル製）に搭載されているフュートレック製フロントエンドとのマッチングがとれており、高精度な認識ができることが特徴となっています。

フュートレックは、2006 年 12 月に株式会社国際電気通信基礎技術研究所（本社：「けいはんな学研都市」 代表取締役社長：平田康夫 以下 ATR）と業務提携契約を行い、ATR が開発した音声認識技術(*)とフュートレックグループが保有するサーバーシステム開発技術を融合させ、携帯電話での音声認識の実用化をしました。この音声認識技術は、音声認識処理をひとつの機器ではなく、端末側とサーバー側に機能を分けて、音声処理をする「分散音声認識技術」を採用しております。



(*)本技術の一部は、独立行政法人情報通信研究機構（NICT）の民間基盤技術研究促進制度により ATR が受託したプロジェクト「大規模コーパスベース音声対話翻訳技術の研究開発」の成果です。

図 分散音声認識概要図

〔分散音声認識技術とは〕

分散音声認識技術とは、図のように音声認識処理を一つの機器で行うのではなく、モバイル機器とサーバーに分けて処理を行う方式です。サーバー側に負荷の掛かる処理を任せ、モバイル機器側は入力データの処理のみを行うことにより、高精度化や処理のスピード UP が可能となります。

■■■ 本リリースに関するお問い合わせ ■■■

株式会社フュートレック

IR 担当：藤野、井筒

TEL：06-4806-3112 FAX：06-4806-3119 E-mail：info@fuetrek.co.jp

上記リリースのテキストは、フュートレックホームページ <http://www.fuetrek.co.jp> に

UP されております。

===== 会社概要 =====

代表者：藤木英幸

設立：2000 年 4 月 17 日

資本金：6 億 7940 万円

業務内容：携帯電話ネットワークに関するサービスの企画・提案、及びそれを実現するためのシステム設計